

# 競 技 注 意 事 項

☆支部別の競技はすべて6支部→5支部の順で行います。ご注意ください。

1. 本大会は、2019年日本陸上競技連盟規則に準じ、当大会要項基準に則して行われます。
2. レーン（コース）および試技順序は、予選・準決勝・決勝とも主催者側で決定します。なお、フィールドの試技順序は、プログラム記載の左上より下へという順序で行います。
3. 選手の招集（コール）は、次のように行われます。
  - ① 代理人による招集は認めません。なお、他種目を兼ねて出場する者で、招集時間に間に合わないような場合は、その事情を事前に競技者係および必要な審判員に申し出てください。出場を棄権する場合には、本人あるいは代理の者が競技者係に必ず申し出てください。
  - ② なお、選手招集場所（コールを受ける所・競技者係の所）は、100m走のスタート付近です。招集に遅れた場合には、競技への参加はできないので、十分に注意してください。
  - ③招集の時間は次のとおりです。

☆ 招集……競技開始40分前に競技者係の所に集合し、ナンバーカードの確認を受けてください。競技開始30分前に招集は完了します。完了時間を過ぎた者は、競技に出場することはできません。  
☆ リレー……男・女4×100メートルリレーのオーダー（出場者申告）の提出は、競技の行われる当日、大会2日目の日程に記載してある時間を締切りとします。

4. ナンバーカードは胸・背部の両面に確実につけてください。跳躍の選手は片面のみでもかまいません。
5. リレー競技に参加するチームは必ず全員同一のユニホームを着用してください。
6. 持参した投てき器具等を使用する場合は、事前に検査を受けて使用許可を受けてなければなりません。
7. 走高跳のバーの上げ方は次のようになります。

|    |        |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |            |
|----|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------------|
| 男子 | (1.40) | 1.45 | 1.50 | 1.55 | 1.60 | 1.63 | 1.66 | 1.69 | 1.72 | 1.75 | 1.78 | (以降3cm刻みで) |
| 女子 | (1.15) | 1.20 | 1.25 | 1.30 | 1.33 | 1.36 | 1.39 | 1.42 | 1.45 | 1.48 | 1.51 | (以降3cm刻みで) |
8. 競技の進行上、長距離種目には打ち切りタイム（女子3000m－15分、1年男子3000m－12分、男子5000m－20分）を設定します。打ち切り時には合図をしますのですみやかにレースを中止してください。なお、打ち切りタイム1分前に最終周にかかっていない選手は、その時点で打ち切りとします。
9. 跳躍・投てき種目の試技数はすべて3回とします。1年生についてはベスト8を決定し、4回目以降の試技を実施します。
10. すべての種目で、それぞれ8位までに入賞した選手には賞状を授与します。学年共通種目は支部別に8名ずつを表彰します。1年生種目で上位8位までの選手は、都1年生大会への出場権を得ます。申込は大会2日目の午後3時から上柚木競技場会議室にて行います。入賞者で、**都大会出場を棄権する選手は競技終了後すみやかに申し出てください。**棄権があった場合には、繰り上げて9位以下の者に出場権を与えることになります。
11. 都選抜大会の申込は、Webに加え、申込日に大会用紙の提出と参加費の払い込みを行ってください。
12. トラック種目はすべて腰ナンバーが必要です。各校で用意しておいてください。3000m・5000mについては腰ナンバーを貸出します。
13. 1年男子砲丸投の重さは5.0kgで行います。男子三段跳の踏切板から砂場までの距離は11m、女子は8mとなっています。
14. トラック内・スタンドを問わず、競技写真・ビデオ等の撮影は許可証を持っている方のみが行えます。
15. 本競技会は、国体代表選考会を兼ねます。